

資料	
----	--

奥州市 景気動向調査報告書

実績：平成29年10月～12月期

見通し：平成30年1月～3月期

奥州商工会議所

前沢商工会

平成30年1月

奥州市景気動向調査報告書

— 平成 30 年 1 月調査結果 —

〔 実績：平成 29 年 10 月～12 月期
見通し：平成 30 年 1 月～ 3 月期 〕

■調査期間：平成 30 年 1 月 4 日～1 月 12 日

■調査目的：奥州市全体の企業景気動向を四半期ごとに把握し、地域産業の振興並びに経営指導の参考に資することを目的として実施する。

■調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

■調査方法：奥州市全体の把握のため、奥州商工会議所本所、江刺・胆沢・衣川各支所及び前沢商工会会員事業所の中から、業態・規模を勘案して抽出した 400 事業所に対するファクシミリによるアンケート調査(無記名方式)。

(水沢 243 事業所 江刺 94 事業所 胆沢 21 事業所 衣川 10 事業所 前沢 32 事業所)

■回収状況：調査対象先 400 事業所のうち、304 企業からの回答を得た。(回収率 76%)

業 種	調査依頼企業数	回答企業数
小売商業	40	32
卸商業	40	28
機械工業	40	34
食品繊維工業	40	26
総合建設業	39	30
専門建設業	40	34
運輸交通業	41	35
金融保険不動産業	40	25
宿泊飲食業	40	26
理美容サービス業	40	34

■判断方法：業況・売上高・営業利益・資金繰り・在庫高については、日本商工会議所 [LOBO調査] の算出方法を基準に、DI 値を用いて判断する。
その他の調査項目については、実数値による判断を行う。

「DI」(diffusion index=ディフュージョンインデックス)
景気動向指数を集め景気全体の動きを表す工夫をした指数であり、特に言及のない限り、前年同期に比べ「増加・好転」したとする企業の割合から「減少・悪化」したとする企業の割合を差し引いた数値である。
 $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

要 約

— 業況DIは2期連続で改善傾向示すも業種によってバラつき 先行きへの警戒感から依然慎重な見通し —

今期の管内商工業の景況（全産業実績DI）は、前回調査から引き続き低調ではあるものの、業況DI・売上高DI・資金繰りDI・在庫高DIで緩やかに数値が改善。しかしながら、営業利益DI・借入状況DIは悪化した。特に原油・仕入れ価格等の高騰による経営環境の悪化や人手不足が深刻な経営課題として挙げられた。

業種別の業況DIをみると、「専門建設業」「機械工業」「卸商業」「運輸交通業」「理美容サービス業」「小売商業」が改善傾向を示し、「食品繊維工業」「総合建設業」「宿泊飲食商業」「金融保険不動産業」は悪化となった。

予想DI（全産業）については、売上高DI・在庫高DI・借入環境DIで改善、業況DI・資金繰りDI・営業利益DIで悪化の見通しとなった。今後の景気に対しては慎重な回答が多く概ね横ばいの見通しが示されたが、「機械工業」「運輸交通」においては回復への期待感が寄せられる結果となった。

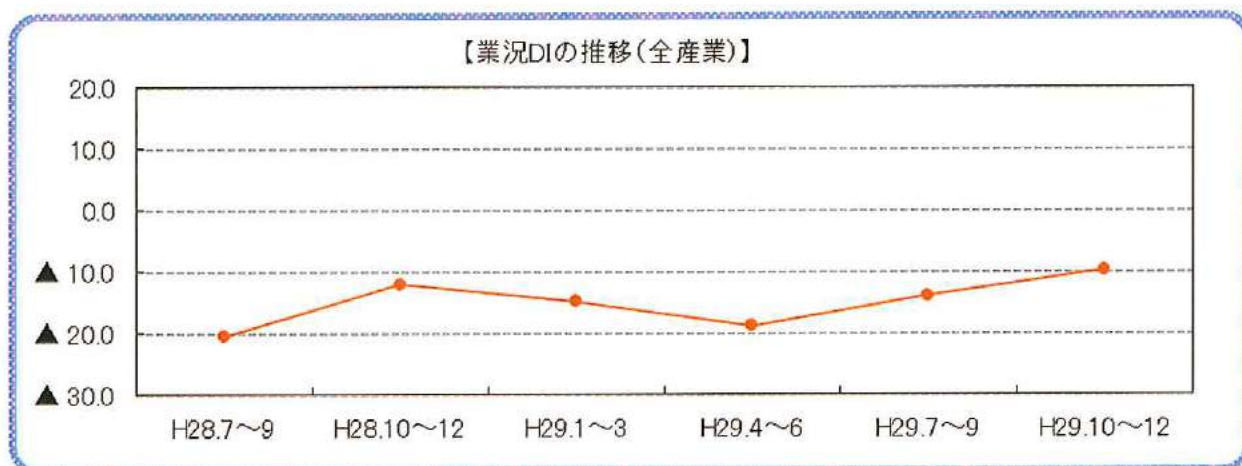
全体的な経営環境では、「冬季賞与を支給したか」の設問に対して、有効回答のうち74.7%の事業所で「実施した」との回答を得た。

前回から追加した事業承継については、後継者（候補者）が「いる」と回答した事業所が56.3%あり、そのうち親族が71.8%、役員・従業員が19.2%、社外登用が6.4%、無回答2.6%の回答を得、「いない」と回答した事業所43.7%のうち、現在検討中が18.2%、今後検討するが57.0%、承継せず廃業が16.5%、無回答8.3%となった。

（1）業況判断DI

前回比で見ると、全体では▲9.7と前回(▲13.9)より改善した。産業別に見ると、「小売商業」「卸商業」「機械工業」「専門建設業」「運輸交通業」「理美容サービス業」で数値が改善となり「食品繊維工業」「総合建設業」「金融保険業」「宿泊飲食業」で悪化した。

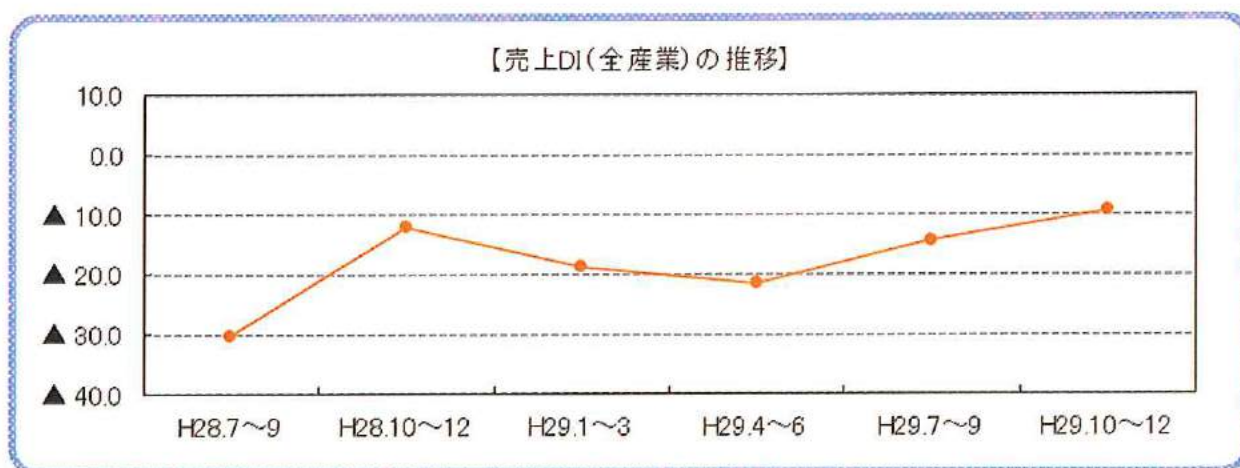
向こう3ヶ月（1月～3月）については、全体で▲14.3と前回(▲13.1)より悪化する見通しとなった。



(2) 売上高DI

前回比で見ると、全体では▲9.3と前回(▲14.2)より改善した。産業別に見ると、「小売商業」「卸商業」「機械工業」「運輸交通業」「理美容サービス業」で数値が改善、「食品繊維工業」「総合建設業」「専門建設業」「金融保険業」「宿泊飲食業」で数値が悪化した。

向こう3ヶ月(1月~3月)については、全体で▲16.2と前回(▲18.1)より改善する見通しとなった。



(3) 営業利益DI

前回比で見ると、全体では▲23.5と前回(▲21.5)より悪化した。産業別に見ると、「機械工業」「運輸交通業」「金融保険業」「理美容サービス業」で改善、「小売商業」「卸商業」「食品繊維工業」「総合建設業」「専門建設業」「宿泊飲食業」で数値が悪化した。

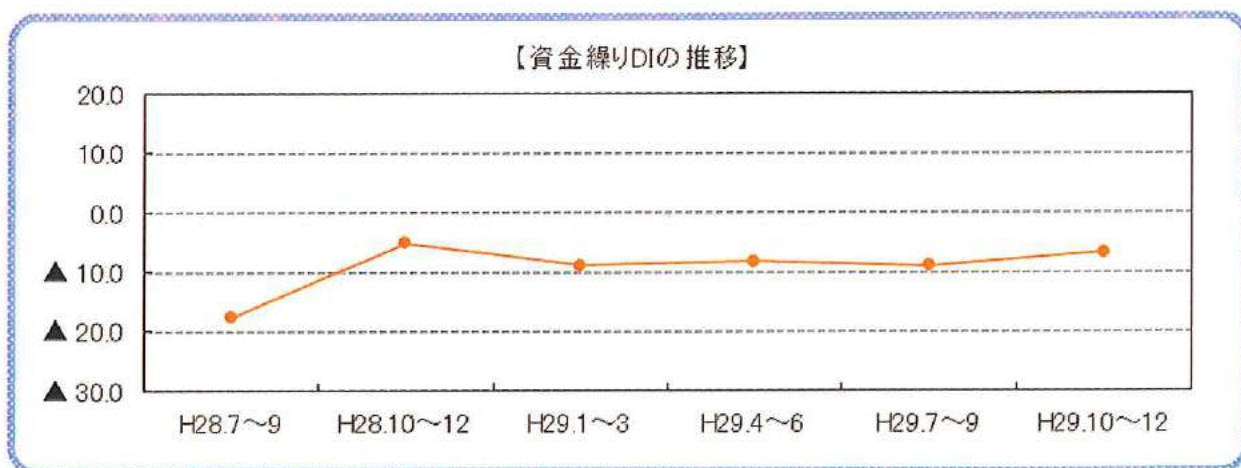
向こう3ヶ月(1月~3月)については、全体では▲27.5と前回(▲24.7)より悪化する見通しとなった。



(4) 資金繰りDI

前回比で見ると、全体では▲6.7と前回(▲9.0)より改善した。産業別に見ると、「機械工業」「総合建設業」「専門建設業」「運輸交通業」「金融保険業」「宿泊飲食業」「理美容サービス業」で数値が改善、「小売商業」「卸商業」で数値が悪化した。

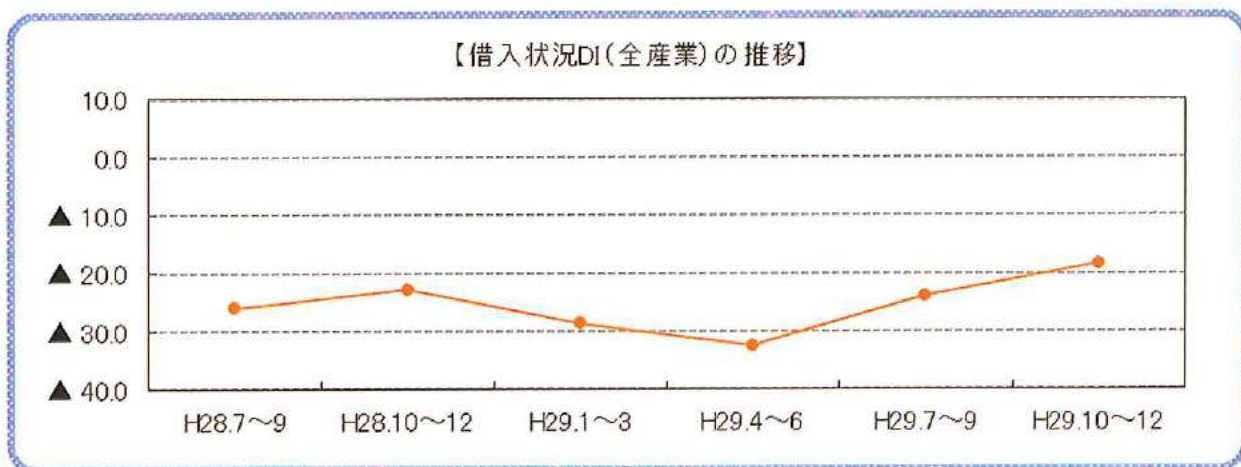
向こう3ヶ月(1月~3月)については、全体では▲12.5と前回(▲10.6)より悪化する見通しとなった。



(5) 借入状況DI

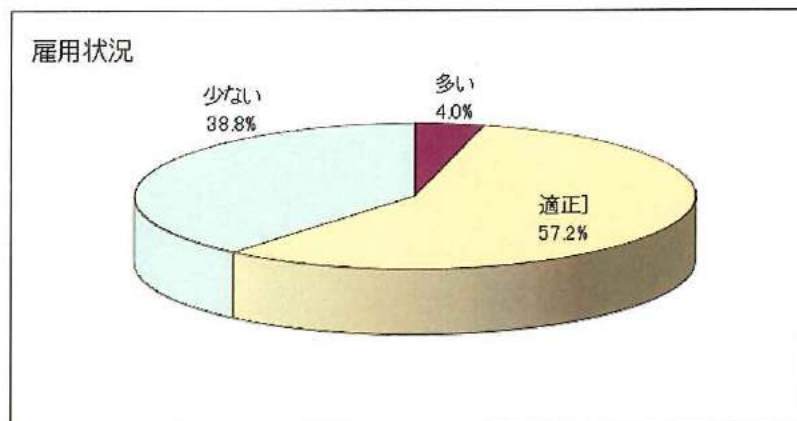
前回比で見ると、全体では▲18.4と前回(▲23.9)より借入状況は悪化した。産業別に見ると、「専門建設業」「運輸交通業」「宿泊飲食業」で数値が改善、「小売商業」「卸商業」「機械工業」「食品繊維工業」「総合建設業」「金融保険業」「理美容サービス業」で数値が悪化した。

向こう3ヶ月(1月~3月)の借入環境については、全体では17.3と前回(8.8)より改善する見通しとなった。



(6) 雇用状況

従業員数については、適正であると判断している企業が 57.2% (前回 54.4%)、多いと感じている企業が 4.0% (前回 6.1%)、少ないと感じている企業が 38.8% (前回 39.5%) となっている。採用計画については、「採用予定」が 43.1% (前回 43.2%) と前回とほぼ同様で、「予定なし」が 37.4% (前回 39.2%) と前回よりわずかに減少した。



(7) 自由意見

<小売商業>

- ① 商店数が減少しており残念です。
- ② 仕入れ価格高騰分を販売価格へ転嫁しきれていない。利幅減少分をカバーする為、同業者間の競争が激化している。

<卸商業>

- ① 8月以降の天候不順の影響によって農作物の相場が上昇している。以前から見られない様な極端な状況が続いている。
- ② 仕入他・原油など全て値上がりしており、やりにくくなっている。

<機械工業>

- ① 材料高騰するも製品価格に反映できず（一部交渉も認められず）多忙ではあるが利益には直結していない。

<総合建設業>

- ① 仕事があっても人が足りず出来ない。若い人も入ってこないのので3年先が見通せない。
- ② ゼネコンの工事終了後の材料相殺で工賃が飛んでいった。もう少しゼネコン教育をして欲しい。

<専門建設業>

- ① 人手不足。
- ② 若い社員の確保が課題。
- ③ 住宅リフォーム工事（水回り）を行っているが競争が激化していると思う。最近なかなか受注に繋がらない。異業種・ネットの参入も大きい。専門業の強みは何とか他社に無い商材を推し進めて行きたい。

<運輸交通業>

- ① 消費税預り金ですが、納めるのが大変です。

<金融保険業>

- ① 北朝鮮との戦争に備え、保存が利くトイレトペーパーと灯油を大量に購入した。無いにこした事はないが当地なりの準備が必要と思う。

<宿泊飲食業>

- ① 35年商売をさせていただいて来ましたが、昨年お盆過ぎ頃から夜の市内の人が極端に減っているように思います。こんなに人がいない水沢は初めてです。
- ② 作業の効率化と営業の強化及びコストの削減。

<理美容・情報サービス>

- ① 人材教育の重要性を再認識し、研修を実施しています。

* 産業別業況調査結果

【全 産 業】

当期（平成 29 年 10～12 月期：以下同）の奥州市全体の全産業の業況 D I は改善となった。項目別にみると、売上高 D I ・資金繰り D I ・在庫高 D I で数値が改善し、営業利益 D I ・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期（平成 30 年 1～3 月期：以下同）の全産業を通じての業況 D I については悪化の見通しである。項目別にみると、売上高 D I ・在庫高 D I ・借入環境 D I で数値が改善し、営業利益 D I ・資金繰り D I で数値悪化の見通しが示されている。

【1. 小売商業】

当期の業況 D I は▲31.3 と前回（▲39.4）より数値が改善した。項目別にみると、売上高 D I で数値が改善し、営業利益 D I ・資金繰り D I ・在庫高 D I ・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期についても、業況 D I が▲36.7 と前回（▲25.0）より悪化する見通しである。項目別にみると、借入環境 D I で改善し、営業利益 D I ・資金繰り D I ・在庫高 D I で数値が悪化、売上高 D I は前回と変わらない見通しが示されている。

【2. 卸商業】

当期の業況 D I は▲7.1 と前回（▲30.8）より数値が改善した。項目別にみると、売上高 D I ・在庫高 D I で数値が改善し、営業利益 D I ・資金繰り D I ・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期についても、業況 D I が▲21.4 と前回（▲20.8）より悪化する見通しである。項目別にみると、売上高 D I ・在庫高 D I で数値が改善し、営業利益 D I ・資金繰り D I ・借入環境 D I で数値悪化の見通しが示されている。

【3. 機械工業】

当期の業況 D I は 0.0 と前回（▲12.5）より数値が改善した。項目別にみると、売上高 D I ・営業利益 D I ・資金繰り D I で数値が改善し、在庫高 D I ・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期についても、業況 D I が 21.9 と前回（▲12.5）より改善する見通しである。項目別にみると、売上高 D I ・営業利益 D I ・資金繰り D I ・在庫高 D I ・借入環境 D I と全ての数値で改善する見通しが示されている。

【4. 食品繊維工業】

当期の業況 D I は▲12.5 と前回（4.3）より数値が悪化した。項目別にみると、在庫高 D I で数値が改善、売上高 D I ・営業利益 D I ・借入状況 D I で数値が悪化し、資金繰り D I は前回と変わらなかった。

来期については、業況 D I が▲25.0 で前回（▲12.5）より悪化の見通しである。項目別にみると、借入環境 D I で数値が改善し、売上高 D I ・営業利益 D I ・資金繰り D I ・在庫高 D I で数値悪化の見通しが示されている。

【5. 総合建設業】

当期の業況 D I は▲23.3 と前回（▲11.8）より数値が悪化した。項目別にみると、資金繰り D I ・在庫高 D I で数値が改善し、売上高 D I ・営業利益 D I ・借入状況 D I で数値が悪化した。

来期についても、業況 D I が▲10.3 と前回（0.0）と悪化する見通しである。項目別にみると、売上高 D I で数値が改善、営業利益 D I ・資金繰り D I ・在庫高 D I ・借入環境 D I で数値悪化の見通しが示されている。

【6. 専門建設業】

当期の業況D Iは5.9と前回(5.6)より数値が改善した。項目別にみると、資金繰りD I・在庫高D I・借入状況D Iで数値が改善し、売上高D I・営業利益D Iで数値が悪化した。

来期については、業況D Iが▲5.9と前回(▲5.6)より悪化する見通しである。項目別にみると、資金繰りD I・在庫高D I・借入環境D Iで数値が改善、売上高D I・営業利益D Iで数値悪化の見通しが示されている。

【7. 運輸交通業】

当期の業況D Iは▲8.6と前回(▲25.0)より数値が改善した。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・在庫高D I・借入状況D Iの全てで数値が改善した。

来期については、業況D Iが▲11.8と前回(▲16.7)より改善する見通しである。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD I・借入環境D Iで数値が改善し、在庫高D Iは前回と変わらない見通しが示されている。

【8. 金融保険不動産業】

当期の業況D Iは0.0と前回(4.2)より数値が悪化した。項目別にみると、営業利益D I・資金繰りD Iで数値が改善し、売上高D I・在庫高D I・借入状況D Iで数値が悪化した。

来期についても、業況D Iは▲4.2と前回(0.0)より数値が悪化する見通しである。項目別にみると、資金繰りD Iで数値が改善し、売上高D I・営業利益D I・在庫高D I・借入環境D Iで数値悪化の見通しが示されている。

【9. 宿泊飲食業】

当期の業況D Iは▲12.5と前回(▲4.8)より数値が悪化した。項目別にみると、資金繰りD I・借入状況D Iで数値が改善し、売上高D I・営業利益D I・在庫高D Iで数値が悪化した。

来期については、業況D Iが▲32.0と前回(▲30.0)より数値が悪化する見通しである。項目別にみると、資金繰りD I・在庫高D Iで数値が改善し、売上高D I・営業利益D I・借入環境D Iで数値悪化の見通しが示されている。

【10. 理美容サービス業】

当期の業況D Iは▲8.8と前回(▲20.0)より数値が改善した。項目別にみると、売上高D I・営業利益D I・資金繰りD Iで数値が改善し、在庫高D I・借入状況D Iで数値が悪化した。

来期については、業況D Iが▲24.2と前回(▲12.9)より数値が悪化する見通しである。項目別にみると、売上高D I・借入環境D Iで数値が改善し、営業利益D I・資金繰りD I・在庫高D Iで数値悪化の見通しが示されている。

【産業別業績実績DI】 【期間：平成29年10月～12月実績】

下段-前回DI値

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	食品繊維	総合建設	専門建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ
業況	▲ 9.7	▲ 31.3	▲ 7.1	0.0	▲ 12.5	▲ 23.3	5.9	▲ 8.6	0.0	▲ 12.5	▲ 8.8
	▲ 13.9	▲ 39.4	▲ 30.8	▲ 12.5	4.3	▲ 11.8	5.6	▲ 25.0	4.2	▲ 4.8	▲ 20.0
売上高	▲ 9.3	▲ 34.4	▲ 17.9	14.7	▲ 24.0	▲ 20.0	2.9	0.0	▲ 4.2	▲ 23.1	2.9
	▲ 14.2	▲ 42.4	▲ 42.3	▲ 9.1	0.0	▲ 5.9	11.1	▲ 30.6	8.7	▲ 14.3	▲ 13.8
営業利益	▲ 23.5	▲ 40.6	▲ 35.7	▲ 11.8	▲ 25.0	▲ 36.7	▲ 8.8	▲ 20.0	8.0	▲ 50.0	▲ 17.6
	▲ 21.5	▲ 39.4	▲ 34.6	▲ 27.3	▲ 12.5	▲ 20.6	0.0	▲ 33.3	4.2	▲ 23.8	▲ 23.3
資金繰り	▲ 6.7	▲ 21.9	▲ 3.6	0.0	0.0	▲ 6.7	▲ 2.9	▲ 17.6	8.7	▲ 15.4	▲ 2.9
	▲ 9.0	▲ 19.4	7.7	▲ 9.1	0.0	▲ 8.8	▲ 8.3	▲ 25.0	8.7	▲ 21.1	▲ 6.9
在庫高	▲ 4.7	▲ 25.8	3.6	▲ 6.3	▲ 8.3	4.5	6.7	8.3	0.0	▲ 11.5	▲ 11.1
	▲ 5.1	▲ 25.0	0.0	▲ 3.0	▲ 13.0	▲ 3.8	▲ 3.3	0.0	13.3	▲ 9.5	4.2
借入状況	▲ 18.4	▲ 20.8	4.8	▲ 19.2	▲ 14.3	0.0	▲ 18.5	▲ 20.7	▲ 68.8	▲ 43.8	▲ 4.2
	▲ 23.9	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 23.1	▲ 28.6	▲ 7.7	▲ 3.7	▲ 3.7	▲ 78.6	0.0	▲ 35.0

※借入状況は、数値減少は借入金減少を示し「改善」、数値増加は借入金増加を示し「悪化」と判定。

【産業別業績予想DI】 【期間：平成30年1月～向こう3ヶ月予測】

下段-前回DI値

	全産業	小売商業	卸商業	機械工業	食品繊維	総合建設	専門建設	運輸交通	金融保険	宿泊飲食	理美容サ
業況	▲ 14.3	▲ 36.7	▲ 21.4	21.9	▲ 25.0	▲ 10.3	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 4.2	▲ 32.0	▲ 24.2
	▲ 13.1	▲ 25.0	▲ 20.8	▲ 12.5	▲ 12.5	0.0	▲ 5.6	▲ 16.7	0.0	▲ 30.0	▲ 12.9
売上高	▲ 16.2	▲ 30.0	▲ 33.3	9.4	▲ 28.0	▲ 10.3	▲ 9.4	▲ 11.8	▲ 4.3	▲ 36.0	▲ 15.2
	▲ 18.1	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 21.2	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 8.6	▲ 27.8	8.7	▲ 33.3	▲ 16.7
営業利益	▲ 27.5	▲ 37.9	▲ 39.3	▲ 6.3	▲ 20.8	▲ 31.0	▲ 30.3	▲ 20.6	▲ 12.5	▲ 52.0	▲ 27.3
	▲ 24.7	▲ 36.7	▲ 29.2	▲ 27.3	▲ 12.5	▲ 18.8	▲ 17.1	▲ 36.1	▲ 4.2	▲ 36.4	▲ 25.8
資金繰り	▲ 12.5	▲ 23.3	▲ 7.1	0.0	▲ 20.8	▲ 13.8	▲ 12.1	▲ 18.2	0.0	▲ 20.0	▲ 9.4
	▲ 10.6	▲ 13.3	4.3	▲ 6.1	▲ 4.2	▲ 12.5	▲ 17.6	▲ 20.0	▲ 4.3	▲ 25.0	▲ 3.3
在庫高	▲ 9.6	▲ 31.0	▲ 10.7	3.3	▲ 16.7	▲ 9.5	10.7	0.0	▲ 15.4	▲ 12.0	▲ 11.1
	▲ 9.8	▲ 30.0	▲ 12.5	▲ 6.1	▲ 8.3	0.0	▲ 7.1	0.0	▲ 6.7	▲ 19.0	▲ 4.2
借入環境	17.3	15.0	4.0	44.8	4.5	8.0	25.9	22.2	16.7	6.7	13.0
	8.8	0.0	9.5	17.9	0.0	23.1	6.7	▲ 3.8	33.3	15.4	▲ 4.3

※借入環境は、数値増加は借入緩和を示し「改善」、数値減少は借入困難を示し「悪化」と判定。

DI値

26.0以上	25.9~5.1	5.0~▲5.0	▲5.1~▲25.9	▲26.0~▲49.9	▲50.0以下

前回調査との対比

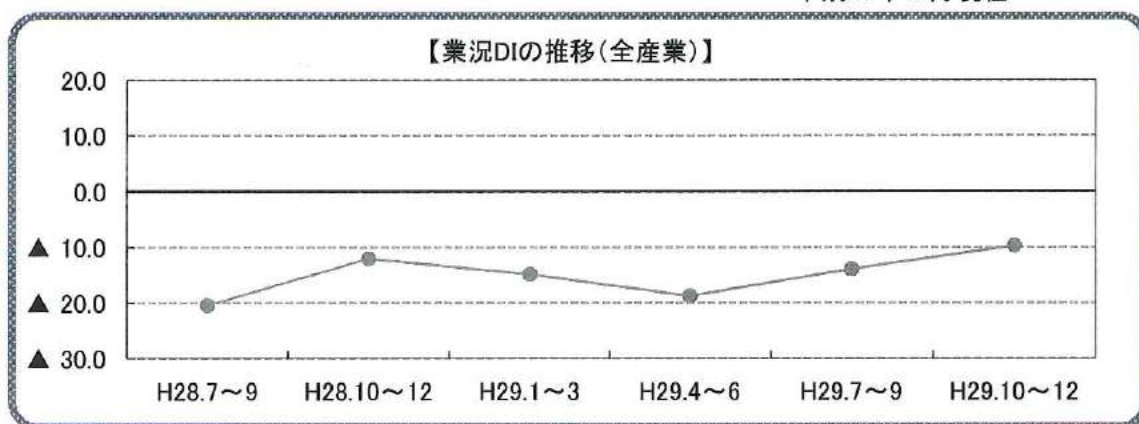
26.0以上	25.9~5.1	5.0~▲5.0	▲5.1~▲25.9	▲26.0以下

■ 業況判断 ■

【業況DI (全産業) の推移】

	H28. 7~9	H28. 10~12	H29. 1~3	H29. 4~6	H29. 7~9	H29. 10~12	見通し
全産業	▲ 20.4	▲ 12.0	▲ 14.8	▲ 18.7	▲ 13.9	▲ 9.7	▲ 14.3
小売商業	▲ 44.8	▲ 25.8	▲ 15.6	▲ 22.2	▲ 39.4	▲ 31.3	▲ 36.7
卸商業	▲ 24.1	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 42.3	▲ 30.8	▲ 7.1	▲ 21.4
機械工業	▲ 19.4	▲ 18.2	▲ 24.2	6.3	▲ 12.5	0.0	21.9
食品繊維	▲ 41.7	3.6	▲ 11.5	▲ 13.6	4.3	▲ 12.5	▲ 25.0
総合建設	▲ 13.3	0.0	▲ 6.3	▲ 20.6	▲ 11.8	▲ 23.3	▲ 10.3
専門建設	5.4	▲ 5.6	▲ 23.5	▲ 26.5	5.6	5.9	▲ 5.9
運輸交通	▲ 10.0	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 18.8	▲ 25.0	▲ 8.6	▲ 11.8
金融保険	▲ 16.7	▲ 12.0	8.0	4.2	4.2	0.0	▲ 4.2
宿泊飲食	▲ 40.9	▲ 13.6	▲ 4.3	▲ 29.2	▲ 4.8	▲ 12.5	▲ 32.0
理美容サ	▲ 13.8	▲ 21.2	▲ 21.2	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 8.8	▲ 24.2

平成29年12月現在

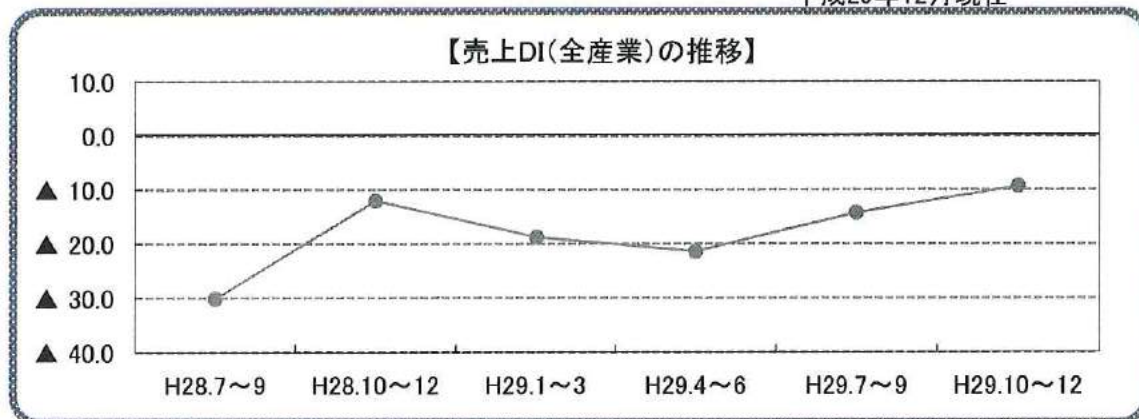


■ 売上 (受注・出荷) ■

【売上DI (全産業) の推移】

	H28. 7~9	H28. 10~12	H29. 1~3	H29. 4~6	H29. 7~9	H29. 10~12	見通し
全産業	▲ 30.1	▲ 12.0	▲ 18.7	▲ 21.4	▲ 14.2	▲ 9.3	▲ 16.2
小売商業	▲ 60.7	▲ 41.9	▲ 40.6	▲ 29.6	▲ 42.4	▲ 34.4	▲ 30.0
卸商業	▲ 27.6	▲ 3.6	▲ 21.2	▲ 42.3	▲ 42.3	▲ 17.9	▲ 33.3
機械工業	▲ 32.3	▲ 18.2	▲ 24.2	0.0	▲ 9.1	14.7	9.4
食品繊維	▲ 41.7	10.7	▲ 15.4	▲ 4.5	0.0	▲ 24.0	▲ 28.0
総合建設	▲ 23.3	0.0	▲ 18.8	▲ 40.6	▲ 5.9	▲ 20.0	▲ 10.3
専門建設	▲ 5.6	▲ 5.6	▲ 28.6	▲ 35.3	11.1	2.9	▲ 9.4
運輸交通	▲ 33.3	▲ 6.3	▲ 8.8	▲ 15.6	▲ 30.6	0.0	▲ 11.8
金融保険	▲ 26.1	▲ 16.7	12.5	4.2	8.7	▲ 4.2	▲ 4.3
宿泊飲食	▲ 50.0	▲ 13.6	▲ 4.5	▲ 25.0	▲ 14.3	▲ 23.1	▲ 36.0
理美容サ	▲ 13.8	▲ 24.2	▲ 23.5	▲ 17.9	▲ 13.8	2.9	▲ 15.2

平成29年12月現在

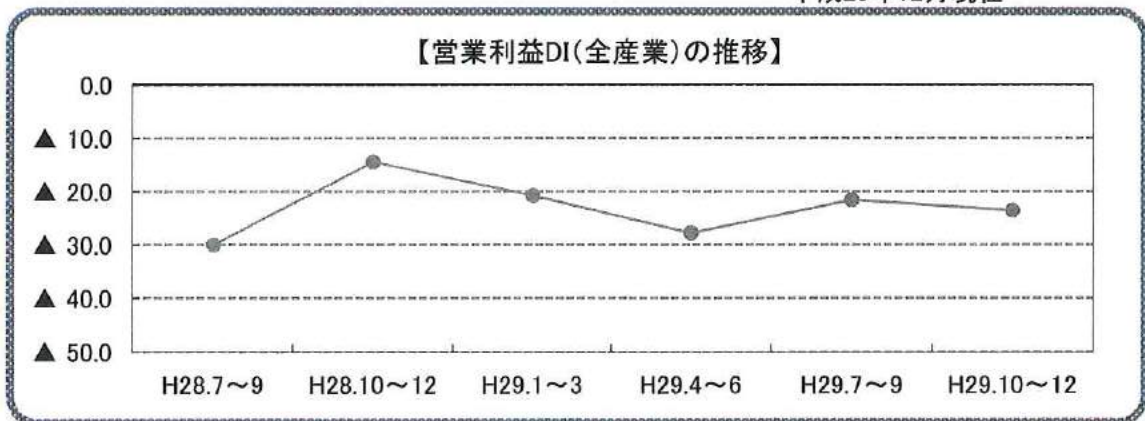


■ 営業利益 ■

【営業利益DI（全産業）の推移】

	H28. 7~9	H28. 10~12	H29. 1~3	H29. 4~6	H29. 7~9	H29. 10~12	見通し
全産業	▲ 30.0	▲ 14.4	▲ 20.7	▲ 27.8	▲ 21.5	▲ 23.5	▲ 27.5
小売商業	▲ 62.1	▲ 29.0	▲ 40.6	▲ 40.7	▲ 39.4	▲ 40.6	▲ 37.9
卸商業	▲ 24.1	3.6	▲ 30.3	▲ 42.3	▲ 34.6	▲ 35.7	▲ 39.3
機械工業	▲ 25.8	▲ 15.2	▲ 30.3	▲ 12.5	▲ 27.3	▲ 11.8	▲ 6.3
食品繊維	▲ 37.5	▲ 10.7	▲ 19.2	▲ 18.2	▲ 12.5	▲ 25.0	▲ 20.8
総合建設	▲ 37.9	▲ 9.4	▲ 25.0	▲ 32.4	▲ 20.6	▲ 36.7	▲ 31.0
専門建設	▲ 8.1	▲ 17.1	▲ 25.7	▲ 38.2	0.0	▲ 8.8	▲ 30.3
運輸交通	▲ 24.1	▲ 15.6	▲ 15.2	▲ 34.4	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 20.6
金融保険	▲ 25.0	▲ 20.8	12.0	0.0	4.2	8.0	▲ 12.5
宿泊飲食	▲ 36.4	▲ 13.6	0.0	▲ 33.3	▲ 23.8	▲ 50.0	▲ 52.0
理美容サ	▲ 27.6	▲ 15.2	▲ 17.6	▲ 21.4	▲ 23.3	▲ 17.6	▲ 27.3

平成29年12月現在

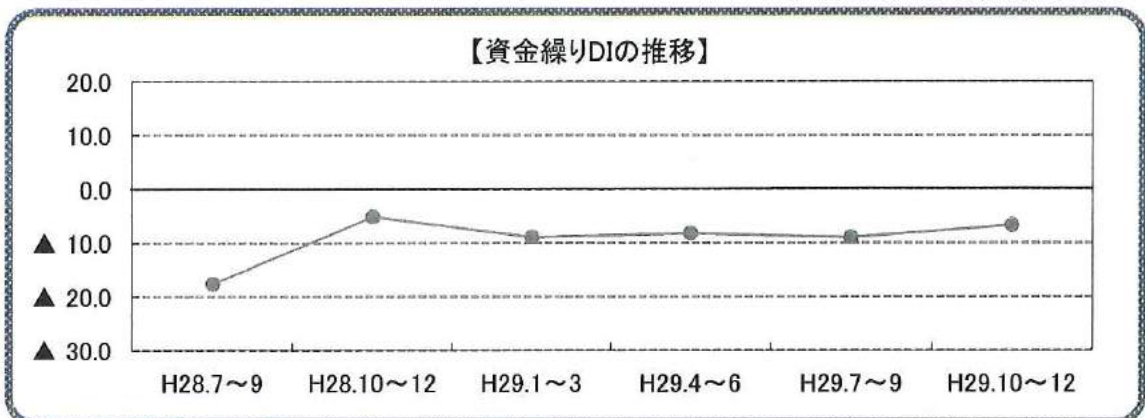


■ 資金繰り ■

【資金繰りDI（全産業）の推移】

	H28. 7~9	H28. 10~12	H29. 1~3	H29. 4~6	H29. 7~9	H29. 10~12	見通し
全産業	▲ 17.6	▲ 5.1	▲ 8.9	▲ 8.2	▲ 9.0	▲ 6.7	▲ 12.5
小売商業	▲ 34.5	▲ 12.9	▲ 21.9	▲ 11.1	▲ 19.4	▲ 21.9	▲ 23.3
卸商業	▲ 10.3	0.0	▲ 3.0	▲ 7.7	7.7	▲ 3.6	▲ 7.1
機械工業	▲ 22.6	▲ 6.1	▲ 3.0	0.0	▲ 9.1	0.0	0.0
食品繊維	▲ 13.0	3.7	▲ 4.0	0.0	0.0	0.0	▲ 20.8
総合建設	▲ 13.3	6.3	▲ 15.6	▲ 11.8	▲ 8.8	▲ 6.7	▲ 13.8
専門建設	0.0	▲ 8.6	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 8.3	▲ 2.9	▲ 12.1
運輸交通	▲ 31.0	▲ 6.3	▲ 20.6	▲ 15.6	▲ 25.0	▲ 17.6	▲ 18.2
金融保険	▲ 4.5	▲ 8.7	13.0	▲ 4.5	8.7	8.7	0.0
宿泊飲食	▲ 28.6	▲ 9.5	0.0	▲ 8.7	▲ 21.1	▲ 15.4	▲ 20.0
理美容サ	▲ 20.7	▲ 9.1	▲ 2.9	▲ 3.6	▲ 6.9	▲ 2.9	▲ 9.4

平成29年12月現在

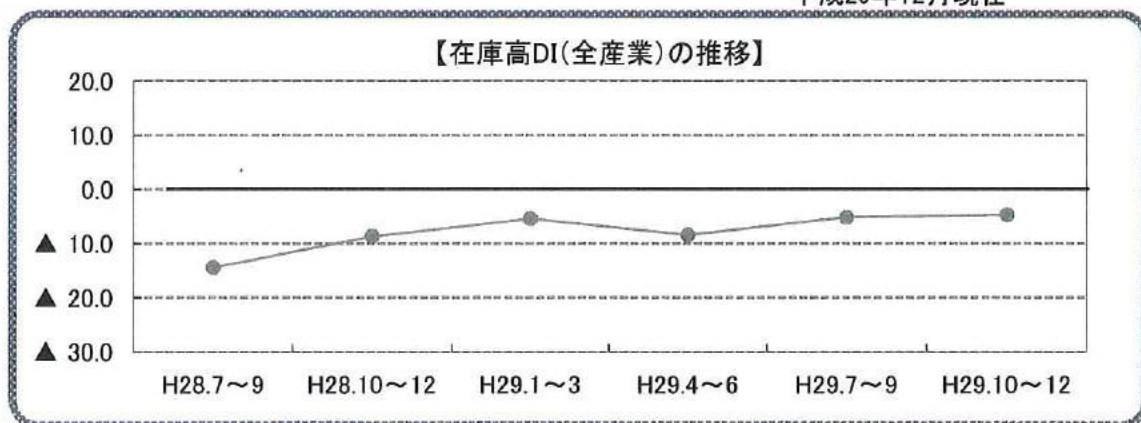


■在庫高■

【在庫高DI（全産業）の推移】

	H28. 7~9	H28. 10~12	H29. 1~3	H29. 4~6	H29. 7~9	H29. 10~12	見通し
全産業	▲ 14.4	▲ 8.7	▲ 5.4	▲ 8.4	▲ 5.1	▲ 4.7	▲ 9.6
小売商業	▲ 35.7	▲ 34.5	▲ 25.8	▲ 34.6	▲ 25.0	▲ 25.8	▲ 31.0
卸商業	▲ 13.8	7.4	6.1	0.0	0.0	3.6	▲ 10.7
機械工業	▲ 3.2	▲ 9.4	▲ 19.4	3.2	▲ 3.0	▲ 6.3	▲ 3.3
食品繊維	▲ 21.7	11.1	▲ 8.3	▲ 22.7	▲ 13.0	▲ 8.3	▲ 16.7
総合建設	▲ 13.6	▲ 14.3	4.2	▲ 4.2	▲ 3.8	4.5	▲ 9.5
専門建設	▲ 12.9	▲ 6.3	▲ 6.5	▲ 18.8	▲ 3.3	6.7	10.7
運輸交通	0.0	▲ 4.5	8.3	4.8	0.0	8.3	0.0
金融保険	▲ 14.3	▲ 31.3	▲ 8.3	0.0	13.3	0.0	▲ 15.4
宿泊飲食	▲ 31.6	▲ 13.6	▲ 4.8	▲ 4.2	▲ 9.5	▲ 11.5	▲ 12.0
理美容サ	0.0	0.0	3.6	0.0	4.2	▲ 11.1	▲ 11.1

平成29年12月現在

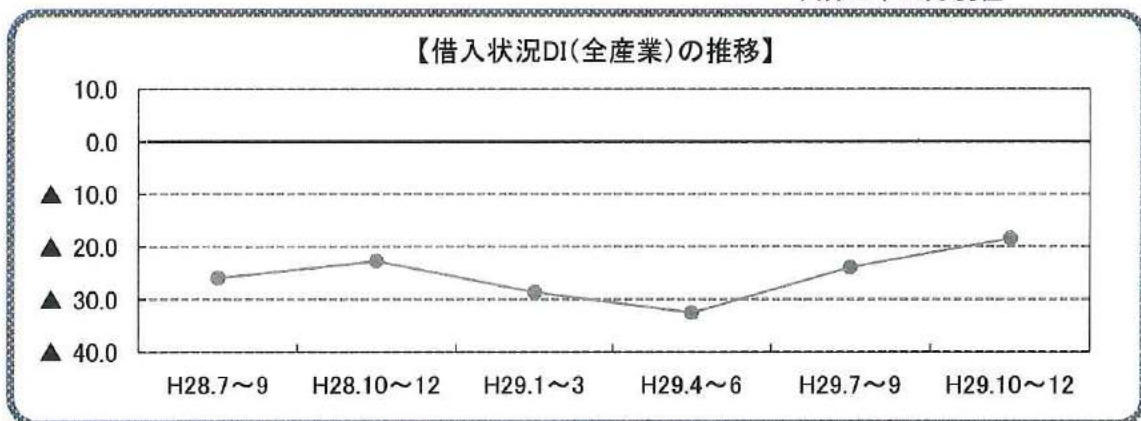


■借入状況■

【借入状況DI（全産業）の推移】

	H28. 7~9	H28. 10~12	H29. 1~3	H29. 4~6	H29. 7~9	H29. 10~12	見通し
全産業	▲ 25.9	▲ 22.7	▲ 28.6	▲ 32.5	▲ 23.9	▲ 18.4	17.3
小売商業	▲ 28.6	▲ 22.7	▲ 27.3	▲ 40.0	▲ 41.7	▲ 20.8	15.0
卸商業	▲ 30.4	▲ 5.3	▲ 40.0	▲ 31.3	▲ 40.0	4.8	4.0
機械工業	▲ 32.0	▲ 38.7	▲ 26.9	▲ 24.0	▲ 23.1	▲ 19.2	44.8
食品繊維	▲ 28.6	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 33.3	▲ 28.6	▲ 14.3	4.5
総合建設	▲ 16.7	▲ 12.5	0.0	▲ 14.8	▲ 7.7	0.0	8.0
専門建設	▲ 7.4	11.1	▲ 14.3	▲ 26.7	▲ 3.7	▲ 18.5	25.9
運輸交通	▲ 30.8	▲ 11.5	▲ 15.4	▲ 17.4	▲ 3.7	▲ 20.7	22.2
金融保険	▲ 56.3	▲ 50.0	▲ 68.8	▲ 50.0	▲ 78.6	▲ 68.8	16.7
宿泊飲食	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 41.7	0.0	▲ 43.8	6.7
理美容サ	0.0	▲ 30.4	▲ 59.1	▲ 66.7	▲ 35.0	▲ 4.2	13.0

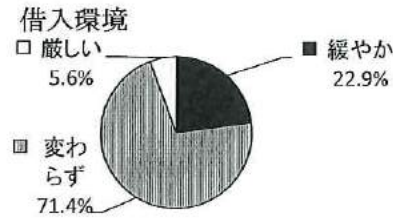
平成29年12月現在



* 参考調査（全産業）

1 借入環境

	緩やか	変化なし	厳しい	合計
回答	53	165	13	231
割合	22.9%	71.4%	5.6%	100.0%



2 設備投資

※設備投資をしたか

	した	しない	回答数
H28. 7月～9月	53	227	280
H28. 10月～12月	71	222	293
H29. 1月～3月	75	219	294
H29. 4月～6月	66	217	283
H29. 7月～9月	57	235	292
H29. 10月～12月	55	244	299
割合	18.4%	81.6%	

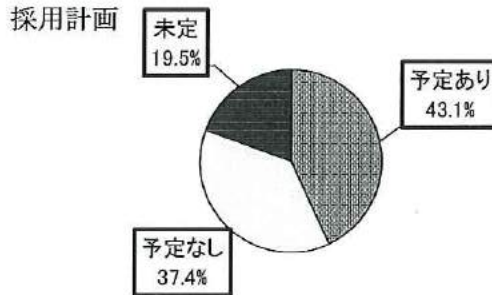
※向こう3ヶ月内に設備投資の予定があるか

	する	しない	回答数
H28. 7月～9月	52	224	276
H28. 10月～12月	48	244	292
H29. 1月～3月	68	227	295
H29. 4月～6月	51	226	277
H29. 7月～9月	53	240	293
H29. 10月～12月	45	252	297
割合	15.2%	84.8%	

3 雇用状況

※現在の従業員数はどうか

	多い	適正	少ない
回答	12	171	116
割合	4.0%	57.2%	38.8%



4 採用計画

	予定あり	予定なし	未定
回答	128	111	58
全体割合	43.1%	37.4%	19.5%

5 事業承継

後継者（候補を含む）

	いる	いない
回答	156	121
全体割合	56.3%	43.7%

後継者がいる場合、どのような方ですか？

	親族	社内	社外から登用	無回答
回答	112	30	10	4
全体割合	71.8%	19.2%	6.4%	2.6%

後継者がいない場合、今後どのようにお考えですか？

	現在検討中	今後検討する	承継せず廃業	無回答
回答	22	69	20	10
全体割合	18.2%	57.0%	16.5%	8.3%

6 全体的な経営環境はどうか（自由回答）

		+	割合	変化なし	割合	-	割合	
①天候の影響	好影響	16	6.5%	152	61.3%	悪影響	80	32.3%
②販売価格	上昇	50	19.8%	173	68.7%	低下	29	11.5%
③冬季賞与	した	201	74.7%		0.0%	しない	68	25.3%
④時間外労働	増加	41	16.0%	187	72.8%	減少	29	11.3%
⑤人件費比率	増加	85	32.6%	152	58.2%	減少	24	9.2%
⑥競争	緩和	0	0.0%	162	62.3%	激化	98	37.7%
⑦現金売上	上昇	16	6.4%	177	71.1%	低下	56	22.5%
⑧代金回収期間	短縮	6	2.4%	209	83.3%	延長	36	14.3%
⑨仕入値	上昇	128	51.8%	116	47.0%	低下	3	1.2%
⑩当期利益	好転	36	13.6%	135	50.9%	悪化	94	35.5%

経営環境

